

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

生麦地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

生麦地区は歴史がある地域だと考えています。

『生麦事件』『蛇も蚊も』『杉山神社例大祭』を始めとした数々の伝統行事があり、地域の方々が一丸となって町を盛り上げています。伝統行事を通して、若い世代へ伝統を継承することにより、住民同士がつながり、様々な世代が交流するきっかけとなっています。また、生麦に愛着を持っていらっしゃる方も多く、向こう三軒両隣の関係や、地域活動などを通じた人と人との温かいつながりがあります。生麦地域ケアプラザの隣には、地域の方々が長く支えている『生麦地区センター』、『ふれあいの家』があり、住民同士のつながりと活動の拠点となっています。

地域の状況としては、国道 15 号線と鉄道線路の間に新しいマンションが立ち並び、子育て世代の居住率の高まりと併せ、地区別高齢化率も高まり、地元の方と転入者の方が混在している傾向にあります。そのため、これまで大切に守られてきた伝統を、次世代へ語り継ぐことのできる支援が必要であると考え、多世代交流や青少年育成、子育て世帯へのアプローチ等を積極的に行い、世代を超えたつながりやネットワークの拡充が必要だと考え事業展開を行いました。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

相談の初期対応は、職種を限定せずに対応し、適宜、相談内容によって、各専門職や担当職員が支援しました。複数の職種で対応することが適切であるときには協同して対応しました。様々な相談に対応するために、区役所との連携や専門機関を紹介する等の対応を行いました。また、各専門機関で対応できる分野を的確に把握するためにも、情報収集を行い、最新の情報を提供できるよう努めました。

(2) 各事業の連携

各々の専門性を活かし、事業参加者や地域で気になる方に関する情報を聞き取り、互いの役割を補完し連携して支援しました。毎朝のミーティングや職員会議で、全体として対応の統一が必要な事柄は適宜情報共有を行い、確認しました。

自主事業に参加していたのに来なくなってしまった高齢者の方、認知症があり独居で生活している方等見守りや支援が必要と思われるケースについて、適宜把握している情報や対応時情報を共有し、今後の支援に活かしました。業務の中で知り得た地域情報はタイムリーに情報を共有できるように努めました。地域支援記録のシートを作成し自治会・町内会ごとの動きを記録し確認出来るようにしています。地域行事や老人クラブの集まりは一つのカレンダーや年間予定表としてエクセルデータにまとめ共有できるようにし、先々の事業予定を立てることに活かせるようにしました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

指定管理で求められる必要職員を適正に配置しました。毎月行われる全体職員会議において毎月テーマを設定し、研修を行いスキルアップに努めました。また、各自が参加した研修は研修報告書を通じて、参加職員以外への共有を行い、全体のスキルアップにつなげました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域の関連団体との連携のため、自治会・町内会、民生委員・児童委員協議会、その他地域関連団体等の会議に積極的に参加し、情報発信やニーズの把握に努めました。

地域で活動する団体の情報を可視化し、来館者が自由に閲覧できるよう取り組みを行いました。

地域主催行事へ地域住民が気軽に参加できるよう、ケアプラザ広報誌へ地域情報の掲載やケアプラザ広報誌掲示用の作成を行い、地域のつながりに少し拡がりが見られました。

(5) 区行政との協働

鶴見あいねっとの地区別支援チームメンバー、推進メンバーとしてケアプラザ全体で地域課題に対して積極的に取り組みを行いました。

担当地区の課題に対して、地域へ情報発信を行い、必要に応じ課題解決に向けた意見交換を実施しました。個別支援については、地区担当保健師、ケースワーカーと毎月1回連絡会を開催し、支援の検討等を継続的に行いました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

体操やパン教室等様々な事業を行いたくさんの方にご参加いただきました。参加しただけにならず新たなつながりや活動に発展していくよう働きかけを行いました。

アンケートをもとに小学生対象のエコキッズ活動にて「地域清掃活動」を実施しました。老人クラブや地域行事で清掃ボランティアならとっていただいた方に声をかけ、子どもたちの見守りボランティアとして参加していただきました。他にも「夏のなまちゃんプログラム」では、「けんだま名人を目指そう」や、シニアの寸劇協力のもと行われた「小学生向け認知症サポーター養成講座」を実施しました。世代を超えた交流の場にもなりました。多職種との連携で出張講座を実施し、普段ケアプラザに足を運ぶ機会がない方たち等にご参加いただき、情報発信を行うと共に地域の方と交わる機会を持つことができました。昨年から実施した「なまちゃんスタンプラリー」も複数枚カードを持っていただいている方もおり、参加意欲向上につながりました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

新たに登録された団体にも紹介シートの記入をしていただき、活動に興味を持ってくれる方が少しずつ増えています。利用団体には空き状況の掲示を活用した利用日の予約に協力いただいています。新規団体や現利用団体の方々へ比較的予約をとりやすい（稼働率の低い）時間帯の情報発信を行いました。

それぞれの団体の方の活動を知り新たな活動のためのきっかけとして意見交換会や避難訓練を兼ねた交流会を実施し、緊急時の行動や消火器、AEDの位置などを確認しました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

地域で大切にされている行事でボランティアを募集し、ボランティアセンターと連携して、中・高・大学生のボランティア受入れを行いました。

生麦盆踊り大会ではボランティアセンターと協力し大学生のボランティアに地域行事に参加いただき、11月の3館合同秋まつりでは中学校のボランティア部の方にブースのお手伝いをしていただきました。

ケアプラザでボランティア活動された方を対象に「ボランティア感謝会」を3月に行い、単発の活動に留まらず、継続した活動となるように今後も働きかけを行う予定です。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

各行事には統一のユニフォームで参加し、昨年と同様に「子どもフェスティバル」・「生麦盆踊り大会」ではブースを出店し、福祉保健活動に関する情報の提供を行いました。また、各老人クラブの活動にも参加し、ケアプラザの活動を周知する機会となりました。

ケアプラザで行った事業報告だけでなく地域の行事の告知や参加報告などを広報紙に記載し情報を発信しました。回覧板にてその広報誌を回覧していただけるよう依頼をし、医療機関や公共施設にも置いていただきました。

9月に団体交流会を実施し、多くの方にご参加いただきました。交流会では各団体の参加者がばらけるように席を設け簡単なゲームや団体ごとの活動紹介を行い様々な話し合いが行われ、団体同士の交流の場を提供しました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

自治会・町内会の行事や老人クラブの集いの場に訪問し、生活支援体制整備事業周知に努め地域の方同士の支え合いの仕組みづくりを進めました。また老人クラブ同士の情報共有・連携強化を目的に、情報交換会を行いました。協働でイベントが開催することとなり、つながりが強化されました。

区包括連絡会にて鶴見区役所と情報共有を行い、また1層生活支援コーディネーターとも密に連絡を取り合い、事業推進を行いました。

全体職員会議にて地域の現状や課題等の情報共有を行い、課題の解決方法を検討しました。地域支援については、職種を限定することなくケアプラザ全体で取り組みを行いました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

業務の中で知り得た地域情報はタイムリーに情報を共有できるように努めました。地域支援記録シートを作成し自治会・町内会ごとの動きを記録し、職員全員が確認出来るように努めました。

ケアプラザで実施している自主事業や、住民主体で地域に開かれた活動を行っている福祉団体の情報をまとめた地域活動・サービスリストの更新を行いました。また地域で配達してくれるお店を一覧にして、必要に応じて紹介ができるようにしています。

老人クラブの活動には積極的に参加し、参加者の生の声を聞くと共に情報の発信を行いました。情報の発信の内容については、ニーズに合わせ、認知症予防、介護予防体操、健康情報、介護保険等についての情報を提供しました。内容によってそれぞれの職員の専門性を活かし情報提供するなどケアプラザ全体で取り組みました。

地域アセスメントを町会ごとに主担当を決め、ケアプラザ職員全員で会長や役員から聞き取りを行い、また地域行事に積極的に参加し、アセスメントシートにまとめました。また全体職員会議の場でも地域について情報共有を行いました。

(3) 連携・協議の場

民生委員・児童委員と友愛活動員各代表と主任ケアマネジャー、生活支援コーディネーターにて懇談会企画会議を定期的に行い、意見交換・情報交換を行いました。見守られる側のニーズを把握することに努め、見守る側と見守られる側、双方に支援を行っていきます。老人クラブの集いの場に多く参加することができ現状を把握することができました。連携の強化、協働ができるよう老人クラブにおける町会同士の関係作りを進めていくなかで2019年3月11日に生麦散歩を生麦第一地区老人クラブと共催で企画実施し、単位町内会を超えたつながりの強化に向け取り組みを行いました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

自治会・町内会、老人クラブ等へ訪問する際、生活支援体制事業の周知を行いました。ニーズや地域資源把握につながるよう地域の方と顔の見える関係を構築しました。また各老人クラブの活動を多くの人に知ってもらう為、ケアプラザ広報誌に活動紹介の記事を1クラブずつ掲載しました。記事に関しては、老人クラブの方に取材を行い、老人クラブの様子に加えて他の老人クラブにはない活動や取り組みを掲載しました。鶴見あいねっと地区別支援チーム会議を中心に鶴見区役所、区社会福祉協議会と情報共有を図り、連携して課題解決に向け取り組みを行いました。連絡会を通し、区内各ケアプラザと情報共有を行いました。移動販売業者を探していた他のケアプラザに、生麦で移動販売を行っていた業者を紹介しました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

連合定例会、民生委員・児童委員協議会、保健活動推進員会への出席、担当区域内介護事業所への毎月の訪問、介護事業所や医療機関との連絡・懇談会開催、地域ケアプラザを利用される自主団体の交流会開催、保健活動推進員および消費生活推進員との共催事業の実施、祭礼、もちつき等各自治会・町内会の行事への参加、誕生会やサロン等各自治会・町内会老人クラブ行事への参加、三麦会行事への参加、3館合同秋まつりにおける諸団体との共催・協力を通じて、地域の諸団体との顔の見える関係作り、意思疎通の強化を継続しました。その結果、タイムリーに情報が入り、個別支援にもつながりました。およそ2ヶ月に1回開催されるふれあい給食会後に自主事業・介護予防普及啓発事業企画し、普段ケアプラザを利用されない方々にも足を運んでいただくきっかけとなるようにしました。講座の内容としては、GoGo健康!講座シリーズやエンディングノートへの関心を高めていただくためにその導入として高齢者の生きた昭和時代を振り返る講座、および弁護士による家族法・相続に関する講座を実施しました。さらに、連続開催のニコニコおたっしやクラブでも、「エンディングノート」、「認知症の方への対応方」、「ケアマネジャーとのつきあい方」、「親族・相続・遺言・後見」、「あんしんセンター」、「任意後見と法定後見」についての講座を実施し、それらの重要なポイントについて、担当区域の各老人ク

ブの集まりの場で広報していくよう努めました。また、老人クラブへも体操や介護保険制度の説明、認知症予防の脳トレ、健康づくりや介護予防につながるミニ講話などを行いました。また、地域ケアプラザ職員で「なまむぎ愛レンジャー」を結成し、地域ケアプラザから遠い地域と国道を挟んだ地域の2か所の町内会館をお借りして、出張講座を実施しました。生麦第一地区保健活動推進員と共催し、地域の健康づくりを目的とした事業や大規模な健康測定会（8月と3館合同秋祭り）を行い、実施に向けた調整などの支援を行いました。

ました。

3回の個別地域ケア会議開催を通じて地域住民とともに地域での見守り、支え合いについて考えることができました。民生委員や町会長、老人クラブ会長、消費生活推進員会会長などの地域住民の代表とともに個別事例を検討、うち1ケースでは認知症による徘徊の恐れのある対象者に緊急の対応が必要となった場合の対処方法について議論できたほか、地域ぐるみの見守りの実現に向けたネットワーク構築を行う事が出来ました。他の2ケースにおいても8050問題への対応を地域住民とともに検討することができました。初回以来の地域ケア会議への地域住民の定期的な参加を通じて地域での見守り、支え合いの必要性を感じていただいているとともに、地域の課題を我が事として考え、積極的に地域ケア会議に参加していただけるようになってきています。

生麦第一地区包括レベル地域ケア会議として平成29年3月に初めて開催した生麦第一地区民生委員・友愛活動員懇談会を契機にそれぞれの代表者と主任ケアマネジャー、生活支援コーディネーターが集う「懇談会企画会議」を定例会として設けています。年度通じて6回、会合を設け、見守り・居場所づくり活動についての情報・意見交換をおこない、相互協力体制確立、ネットワーク構築に向けた議論を行いました。

民生委員、友愛活動員相互の見守り・支え合い活動に活かせるよう、3月の民生委員・友愛活動員懇談会開催時に、マップを用いての要援護者支援に資する社会資源の再発見、共有を目的とした研修を行いました。研修を通じて地域の資源とその活用を議論し、また地域包括ケアシステムへの理解を深めていただくことができました。

②実態把握

民生委員、老人クラブ役員、保健活動推進員等、地域住民や地域の団体の中で中心となって活動している方々と定期的開催されるイベントを通して顔の見える関係を築き、訪問依頼や情報提供といった相談をしていただきやすい状態を年間通じて継続することができました。その結果、速やかな実態把握訪問、同行訪問が可能となりました。また、医療機関の相談員、ならびに退院調整看護師等からの情報提供による実態把握のための訪問を行いました。

区役所からの相談票は受理日に内容確認を行い、相談者のニーズに応じた対応を決定しました。来所予定のはずで未相談のままになるケースがないよう、地域情報を駆使した情報把握を行い、区役所と情報共有できるように努めました。

実態把握のための訪問活動を通して、継続的な支援が必要と判断される場合、および福祉的ニーズが多岐にわたると見込まれる場合には、区役所の地区担当ケースワーカーや、保健師、サービス事業所、医療機関等の専門機関と連絡し協同して支援を行いました。

③総合相談支援

初回相談については、即応性を維持するために職種を限定せず、相談を受けたものが対応したうえで、内容に応じて他の専門職に引継ぎました。

相談内容に応じて、他の専門相談窓口の紹介もしくは引継ぎを行いました。

相談の記録は、相談票を作成し、継続支援についても適宜記録を残すことと、定期的な連絡会を所内で行い、職員間で情報共有し、継続的な関わりを要する場合、および、初期に集中的な関わりが必要なケースでは、包括三職種で協働して支援を行いました。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

初回相談については、即応性を維持するために職種を限定せず、相談を受けたものが対応したうえで、内容に応じて他の専門職に引継ぐか、または複数体制で対応しました。

相談内容に応じて、他の専門相談窓口の紹介もしくは引継ぎを行いました。

相談の記録は、相談票を作成し、継続支援についても適宜記録を残すことと、定期的な連絡会を所内で行い、職員間で情報共有しました。

②高齢者虐待への対応

鶴見区役所、地域の民生委員、地域住民、事業所など様々な方から虐待が懸念されるとの情報を得て、虐待の早期発見、予防に努める対応を行いました。

虐待発生の可能性が疑われた場合には、関係機関と協働し、虐待対応フォロー表に従い対応しました。虐待の発見や通報、その後の対応などの際に、日頃の活動を通して築いた良好な関係性を元に対応できるように、民生委員、居宅介護支援事業者等の参加する連絡会を行いました。

介護者が孤立しないように、介護支援を目的にした事業を継続しています。また、介護者向けサロンの企画を支援しました。

③認知症

権利擁護の制度において認知症の方の権利がどのように守れるかを知っていただくためにニコニコおたっしゃクラブの中で社会福祉士、弁護士、司法書士の方にお話ししてもらった講座を実施しました。また、認知症サポーター養成講座、および認知症サポーターミニ講座を出張講座にて実施し、地域の方々に認知症の理解を深めていただきました。また、老人クラブへの出張ミニ講座では、認知症になっても尊厳を保った在宅生活を続けるために、日ごろからの近隣の理解と支援の輪を広げることが重要であることを伝えました。

地域ケアプラザの全職種がそれぞれの連絡会や内外参加研修にて認知症に関する知識や相談援助技術を高めるための対応法を学びました。

わになるネットについて、手引きに沿って区内各地域包括支援センターと共同で運用し、さらに充実した運用ができるよう、各地域包括支援センター、登録機関と意見交換、情報交換を実施しました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

前年度までに情報を収集、蓄積した、地域で出張や宅配、出前などを行う商店、企業の情報をリスト化し、希望される地域住民や事業所等に対し対面や電話での情報提供を行いました。また、興味を持つ住民、介護サービス利用者等の参加につながるよう、ケアプラザ広報誌にて地域の行事、活動等の情報提供を行いました。

ケアプラザ全職員が老人クラブの集いの場、行事に参加し、体操指導、講義など運営協力を行いました。老人クラブの役員会や定例会に出席し、老人クラブとの関係強化、地域課題の把握を図りました。また老人クラブのサロン活動の立ち上げに向けて支援を行いました。現在定期的にサロン活動を行っていない老人クラブに向けて他老人クラブのサロン活動の内容の紹介を行い、見学の調整等を行いました。

生麦第一地区民生委員・児童委員協議会に毎回参加し、顔の見える関係づくり、地域事情、課題の把握を行った他、同行訪問、情報共有等見守り活動における協働を行いました。結果、協議会の際もしくは日常的に民生委員より個別の住民の支援に関する相談をいただき、ケース把握、個別支援につながっています。また、11月28日に生麦第一地区民生委員・児童委員協議会との共催でケアマネジャーと生麦第一地区民生委員、病院職員、介護事業所職員の合同連絡会を設け、47名参加。「連携」をテーマに、「救急搬送が必要な時の対応」、「一人で通院が困難な方への対応」、「心を閉ざす人への向き合い方」、「深い悩みを抱える人への寄り添い方」等支援の方法について情報交換、意見交換を行いました。参加された事業所等の一覧をまとめ、参加者全員に配布した他、互いの連絡先を交換し協働のきっかけづくりを行いました。生麦第二地区のうち原西自治会、住宅地町内会、生麦住宅自治会においても、地区の民生委員と町会長、老人会会長等と地区につながるのがあるケアマネジャー、病院職員との合同連絡会を12月17日に行いました。今年度は蛇も蚊も祭りなどで地区同士の繋がりが深い柳町町会、原東町内会の民生委員等にもご参加いただいたうえで生麦駅周辺地域要介護者支援担当者懇談会として開催し、地区の要介護者支援の現状、具体的な連携の方法を話し合いました。

老人クラブと民生委員の継続的な連携を図るねらいのもと、民生委員・友愛活動員懇談会の企画会議として、生麦第一地区民生委員と友愛活動員を兼任する生麦第一地区老人クラブ会長それぞれの代表者が意見交換、情報交換ができる機会を年間通じて6回設けました。日頃からの見守り、支え合い活動についての互いの現状の共有やより良い活動ができるための意見交換ができ、連携を深めました。

個別地域ケア会議を3回、包括レベル地域ケア会議を地区ごとに2回、計5回開催しました。民生委員や町会長、老人クラブ会長、消費生活推進員会会長などの地域住民の代表、当事者、ケアマネジャー、医療機関等関係機関を招聘し、地域住民、関係機関とともに地域課題発見に取り組んだ結果、個別要介護者の課題解決につながるとともに、「認知症一人暮らし高齢者への支援の在り方」、「8050問題への対応」などの地域課題を見出しました。

②医療・介護の連携推進支援

2月27日に生麦病院と合同で、病院地域連携担当職員、ケアマネジャーを対象に合同連絡会を行い46名参加、保健師の資格を持つ講師よりICFの考え方と活用方法について事例検討の形で講義していただきました。ICFについての理解を深めるとともに、ともに学ぶことによってお互いの視点や考え方の共通点や相違点を再確認でき、相互理解につながりました。

ケアマネジャーと介護事業者、訪問看護事業者等多職種での合同連絡会に関し、企画段階の主担当者への助言、当日の運営等を担当しました。例年の開催のため顔の見える関係が深まり、今年度は各共催団体の合意で事業所一覧の作成は割愛されましたが、各事業所の特徴や運営方針等理解しあえるようになってきたことが、一人ひとりの利用者の個性、疾患にあった事業所紹介を可能にしているなど、個別支援においても活かせています。

MSW等医療関係者とケアマネジャー連絡会開催にあたって、鶴見区主任ケアマネジャー連絡会からの企画主担当者として、鶴見事業者連絡会つばさねっと、済生会横浜市東部病院、鶴見区在宅医療連携拠点の代表者とともに、企画、開催を主導しました。ケアマネジャーと医療機関の相談員、地域連携職員の顔の見える関係づくり、連携強化の一助を担った他、横浜市医療局担当係長による「横浜市入院時・退院時情報共有ツール」の講演にあたって、講師との窓口として事前打ち合わせ、調整を行い、ツールの普及、啓発活動、活用のための意見交換をおこなうことができました。また、医療機関とケアマネジャーの連携のための情報シートの更新作業を主導しました。連絡会開催にあたって企画会議、反省会を7回行うことで、つばさねっと役員と鶴見区医師会在宅部門担当者、済生会横浜市東部病院担当者が協働、情報交換、意見交換の出来る機会となり、相互の理解、連携、協力関係の構築につなげることができました。3館合同秋まつりでは健康測定の会場で、「健康相談ブース」「お薬相談ブース」を開設、相談対応について協力医と協力薬剤師の協力をいただきました。また、協力医に今年度も年間を通じてケアプラザ広報誌に健康に関する記事を執筆していただき掲載をさせていただきました。生活習慣病に関する専門的な内容をわかりやすくまとめた記事になっています。

③ケアマネジャー支援

担当区域内および介護予防支援委託などでつながりのある居宅介護支援事業所へ毎月訪問を行い、顔の見える関係づくり、実態把握、個別利用者や業務上の困りごとの相談対応等のケアマネジャー支援を行いました。相談のあった事例について、必要に応じて他介護事業者、医療機関、さわやか相談室、行政等関係機関と情報を共有、対応を協議し、連携を支援しました。

多種多様な研修を効率よく受けたいとのケアマネジャーの意見、要望を受け、各研修機関が計画的な研修を開催できるよう、鶴見事業者連絡会つばさねっと、訪問介護連絡会、鶴見区在宅医療連携拠点、区内の拠点病院、各地域包括支援センターの研修会開催計画をまとめ、各機関に提示しました。研修計画・内容の共有により、研修の日程や内容が複数機関によって重複することを避けることができ、ケアマネジャーが興味のある研修に効率的に参加できるようになった他、研修企画の効率化を図り、研修の質を高めることができました。

つばさねっと主催研修、役員会、親睦会に参加するとともに、研修会のファシリテーター、役員会や研修会での助言などをおこない、居宅介護支援事業所等の参加する鶴見事業者連絡会つばさねっとの活動を支援しました。

区内全包括、つばさねっとと協働し介護保険法改正に関する研修を行い、65名参加し

ました。研修企画会議の運営や当日の運営などを担当し、介護保険改正のポイントを共有、共通理解できるための一助とすることができました。

区主催の介護予防ケアマネジメント研修において研修企画、訪問介護の視点からのケアマネジャー向け講演のための講師調整、当日の運営、講義のまとめを行いました。業務委託先居宅介護支援事業所に対し、広く参加を呼びかけました。また居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャー向けに相談援助に資する研修を区内全包括と協働して行ったほか、新任ケアマネジャー向け研修会を区内全包括の共催で延べ6日間にわたって行い、初日のケアプラザの機能に関する講義を担当しました。また、個別指導を担当した2名のケアマネジャーに対して個別の助言、情報提供、サービス担当者会議開催支援などの支援を行い資質の向上に取り組みました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

各職種それぞれが日常業務の中で支援者のネットワークを広げることを意識的に行い、得られた地域住民、介護事業者、医療機関、専門職団体等のネットワークを活かして個別ケースや地域活動の支援を行いました。顔の見える関係が広がってきていることから、本人同意を得たうえでの地域の民生委員、町会長や自治会関係者、善意で要介護者を支援する地域住民、インフォーマルサービスなどとの支援の依頼、相談が互いにしやすくなっていることが相談件数の推移などから見てとれます。事業者間においても、ネットワーク作りの結果、信頼関係に裏付けされた連携しやすい関係が深まり、個々のケースについて気軽に相談し合えるようになってきているとの複数の声が聞かれます。また、地域で活動されるケアマネジャーとの訪問時などの日頃の意見交換の中から、地域のネットワークが深まった結果、地域住民から、もしくは地域の知人の紹介によるご本人からの居宅介護支援依頼が増えたとの声が聞かれるようになりました。今後は信頼関係をもとに地域住民から直接ケアマネジャーへ相談し、支援を依頼できるような敷居の高さを感じないネットワーク、支援を必要とする人と地域の身近な支援者、地域に密着して介護や医療のサービスを提供する専門職が、互いの思いを理解し合って、良き隣人としてお付き合いの出来るごく近い関係の地域包括支援ネットワーク構築を目指します。

個別レベル地域ケア会議を3回、包括レベル地域ケア会議を2回実施しました。うち1回の包括レベル地域ケア会議は「生麦駅周辺地域要介護者支援担当者懇談会」として生麦駅周辺地域の連合町会を跨ぐ5つの町会、自治会の民生委員、町会関係者、老人クラブ関係者等地域で要介護者支援を担う人たちと地域に密着して活動するケアマネジャー、介護関係者、医療関係者を招き、顔の見える関係づくりを進めるとともに要介護者支援の実態と課題を共有しました。ほか1回の包括レベル地域ケア会議は「生麦第一地区民生委員・友愛活動員懇談会」として開催、懇談会企画会議を民生委員、友愛活動員の代表者ととも年5回開催し、出席者の提案で、懇談会で地域のたまり場をマップ上で共有し、孤立を防ぐ方策について話し合うことが決まるなど、地域の福祉保健関係者の意見を反映した会議の企画、運営をおこなっています。懇談会終了後に1回開催した、振り返りを兼ねた次回に向けた企画会議では、抽出された地域のたまり場一つひとつに対する活性化のための支援の方法を考え、実行していく方向性を確認しあっています。

地域ケア会議の開催状況や会議で明らかになった「認知症一人暮らし高齢者への支援の在り方」、「8050問題への対応」などの地域課題を生麦第一地区あいねっと地区別支援チーム会議にて共有し、地域福祉保健計画と連動した動きがとれるよう調和を図りました。

鶴見区在宅医療連携拠点連絡担当として鶴見区医師会主催研修、つばさねっと役員会、主催研修、懇親会、訪問介護連絡会主催研修に参加、協力しました。研修企画支援、周知広報の支援、ファシリテーターを行うなどの開催支援を通じてネットワーク構築を支援しました。

鶴見区主任ケアマネジャー連絡会、鶴見区在宅医療連携拠点、鶴見事業者連絡会つばさねっと、鶴見区訪問看護ステーション連絡会が共催する多職種での合同連絡会に関し、前年度担当として、企画段階の主担当者への助言、当日の運営等を担当しました。多職種で意見交換、要介護者支援の方向性の共有を行うことができました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

3職種それぞれ自身で担当するケースを持ち、ケアプラン作成時には自立支援につながるように、ご本人の今までの生活歴や生きがい、これからのご本人が願う生活等をお聞きし、利用するサービスを提案させていただきました。

ケアプラザの自主事業や老人クラブの活動など、様々なインフォーマルをケアプランに取り入れ、ご本人と地域の繋がりが途切れないような支援を行いました。地域の行事の際には担当している職員が参加しているからと、久々に行事を見に来てくださった方もいらっしゃいました。

委託を行った際には、担当者会議等に可能な限り同席をさせていただきました。自立支援につながるようなサービスが提供していけるように、利用者、ケアマネジャー双方に寄り添った支援を心がけました。

ハートページや居宅介護支援事業所一覧等を活用し、公正中立な立場での情報提供を行いました。地域の様々な情報が集まる場であることを活かし、必要な方に必要な情報が届くように日々情報収集と情報発信を各職員が行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

今年度、GoGo健康！講座はケアプラザを会場に9回、ケアプラザから遠い地域の会場で1回開催をしました。(なまむぎ愛レンジャーの出張講座でも同じ会場でハマトレの講座を実施)地域の会場での講座を実施した際は、その近隣地域から多くの方が参加してくださっており、来年度も同様に出張での講座を実施していきます。また、今年度は積極的にハマトレを盛り込んだ講座を開催し、さらに地域の介護予防に取り組むグループへもハマトレの普及啓発を年間通じて実施しました。自身でハマトレを覚え日常的に運動できるように今年度続き来年度も取り組んでいきます。

元気づくりステーション支援としては、9月に初めての代表者等ミーティングを実施しました。互いの活動を知ることで、今後のそれぞれの介護予防に関する取り組み(体操、栄養士さんのお話、ST・PTの派遣)への意欲の向上につながりました。2回目の代表者等ミーティングを年度内にもう一度開催し、来年度のそれぞれ活動に活かせるように支援をしていく予定です。また、来年度は今年それぞれの活動に盛り込んだ取り組み(栄養、口腔に関するお話しやハマトレなど)を継続していけるように区役所の地区担当職員とも連携し支援していきます。

5 その他

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

所長を施設維持管理責任者、サブコーディネーターを日々の巡回担当者とし、維持確認を努めると共に、職員を各室責任者として配置し、不具合があった場合は速やかに所長に報告、修理営繕に努めました。

業務確認会などで不具合がないかなどの確認を行うとともに、修繕を行った場合には情報を共有し職員の意識向上につとめ、適正な維持管理ができるよう努めました。

(2) 効率的な運営への取組について

毎月の職員会議において収支確認を行い、職員全体の効率的運営への意識を高め、節電にも積極的に取り組みました。また、日々の業務確認会等で情報連絡を密にし、同種の業務を統合するなどして効率的な業務遂行を行うよう心がけました。

(3) 苦情受付体制について

マニュアルに沿って迅速に対応ができるよう職員会議等で確認を行いました。

いただいたご意見等は改善可能な事項から改善を行いました。

個人情報に配慮しながら、回覧、業務確認会等での確認を通して、周知をはかり改善、防止に努めました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

火災、地震発生時に対応する役割分担や対応手順を記したマニュアルの年度更新を行い、職員会議で確認を行いました。

所長を防火管理者とした消防計画により、消防訓練を行いました。また、地域防災訓練に参加し、日常的に協力関係を築けるよう努めました。

来館者には必ず声をかける等し、不審者の侵入を防ぐように努め、施設巡回、点検の中で確認を行い、閉館時はすみやかに施錠を行い、防犯に取り組みました。

(5) 事故防止への取組について

マニュアルをもとに、安全研修を実施し事故防止への意識を高めました。

日々の点検の中で確認を行い、業務確認会などで情報共有を行いました。

利用者の安全への協力については、必要な掲示等を行い、事故発生を防ぐための配慮を行いました。また、書類送付などの際はマニュアルに従い、必ずダブルチェックを行い、事故防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

個人情報はその方の人格そのものであるという意識を持ち、その取り扱いについて配慮を高め運営を行いました。個人情報の取り扱いについては、内部研修等を通しマニ

ユアル通りの作業の徹底を図りました。また、施設内で知り得た情報の守秘義務についてボランティア・実習生にも説明を行い、誓約書を取り交わしました。

(7) 情報公開への取組について

理事会資料、法人資料等は「ご自由に閲覧できます。」という掲示と共にロビーに設置し自由に閲覧ができるように努めました。また、ホームページなどの更新、ブログなどを利用し情報公開を行いました。地域への情報公開としてケアプラザ広報誌などに記事として取り上げ周知を図りました。

(8) 人権啓発への取組について

職員一人ひとりが人権問題に対する正しい理解と認識を深め、あらゆる人権問題の解決への取り組みができることを目標に、研修を行いました。
人権侵害を受けて苦しんでいる当事者の存在を知り、その思いに寄り添うことができるよう、個別の人権問題について2月に啓発を行いました。
支援においては、自主性を尊重しつつ、ともに一緒に考えるという基本姿勢に立ち、主体性を持って支援を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

横浜市の取り組みを来館者に理解して頂ける様に、PRのポスター、冊子等を置き活動の理解を図りました。
節電への取り組みを実践し、環境への配慮について掲示すると共に来館者にご協力いただきました。
日常使用する消耗品や備品の使用はリサイクルを意識した備品購入、出来る限り環境に配慮したものを使用しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者 1名(兼務)

担当職員 3名(兼務)

(社会福祉士1名、主任ケアマネジャー1名、保健師1名)

《目標に対する成果等》

3職種それぞれ自身で担当するケースを持ち、ケアプラン作成時には自立支援につながるように、ご本人の今までの生活歴や生きがい、これからのご本人が願う生活などをお聞きし、利用するサービスを提案させていただきました。

ケアプラザの自主事業や老人クラブの活動など、様々なインフォーマルをケアプランに取り入れ、ご本人と地域の繋がりが途切れないような支援を行いました。地域の行事の際には担当している職員が参加しているからと、久々に行事を見に来てくださった方もいらっしゃいました。

委託を行った際には、担当者会議等に可能な限り同席をさせていただきました。自立支援につながるようなサービスが提供していけるように、利用者、ケアマネジャー双方に寄り添った支援を心がけました。

ホームページや居宅介護支援事業所一覧等を活用し、公正中立な立場での情報提供を行いました。地域の様々な情報が集まる場であることを活かし、必要な方に必要な情報が届くように日々情報収集と情報発信を各職員が行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

介護保険料を滞納されている場合などを除き実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・法人理念に沿って1人ひとりの利用者が自身の持ちうる力を活かして、地域とつながりある生活が送れるように支援をしました。
- ・様々な専門職と連携・協働して支援体制作りに取り組みました。
- ・知識や実践力の向上を目指し、研修等で学びを深めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
56	57	56	56	55	55
10月	11月	12月	1月	2月	3月
55	55	55	56	54	57

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（兼務）
 介護支援専門員 2名（兼務1名、専従1名）

《目標に対する成果等》

- ・可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活（要介護状態の予防、軽減及び悪化防止など）が営めるよう利用者の意思を尊重しながら、心身の状況や環境に配慮した居宅サービス計画の作成を行うように努めました。
- ・地域包括支援センター、サービス事業者、行政、医療機関等と連携、協力を図り、利用者、家族の在宅生活を支援しました。
- ・個人情報の取り扱いには十分な配慮を持って、ケアプラザ全体で丁寧な対応を心掛けました。
- ・法令を遵守し、公正かつ中立なケアマネジメントを行うよう努めました。
- ・地域の方々の活動拠点としてのケアプラザにある居宅介護支援事業所として介護者支援、社会資源の育成や活性について役割を持ち、地域のネットワーク作りを意識した支援を行うように努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

利用者から実費負担を徴収するケースはありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・法人のスローガン「みつかる、つながる、よくなっていく。」に沿って、利用者一人一人に向き合い、より良い在宅生活が送れるように努めました。
- ・傾聴、受容、共感の姿勢で話しやすい雰囲気作りを作り、利用者の意思を尊重した居宅サービス計画作成に努めました。同じ姿勢で定期的なモニタリングを行い、利用者の意思が常に居宅サービス計画に反映できるように努めました。
- ・豊富な社会資源の中から利用所の求めに合った支援ができるように、内外の研修の参加、自己研鑽、情報収集に努めました。
- ・地域ケアプラザにある居宅介護支援事業所として、地域包括支援センター、区役所、民生委員と連携、協力を図り、迅速かつ適切な支援が提供できるように努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
37	37	37	38	38	36
10月	11月	12月	1月	2月	3月
35	36	37	35	35	38

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 - （事業対象者） 円
 - （要支援1） 円
 - （要支援2） 円
- 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「生麦地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,610,000		17,610,000	17,420,813	189,187	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	650,000		650,000	737,139	87,139	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	18,260,000	0	18,260,000	18,157,952	102,048	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,331,000		11,331,000	11,127,249	203,751	
本俸	7,740,000		7,740,000	7,346,460	393,540	
社会保険料	967,000		967,000	831,263	135,737	
手当計	2,438,000		2,438,000	2,111,804	326,196	
健康診断費	36,000		36,000	29,422	6,578	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふりんご
退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	808,300	658,300	
その他	0		0	0	0	
事務費	1,549,000		1,549,000	1,534,514	14,486	
旅費	36,000		36,000	34,539	1,461	
消耗品費	140,000		140,000	45,032	94,968	
会議随行費	0		0	18,000	18,000	
印刷製本費	65,000		65,000	60,705	4,295	
通信費	541,000		541,000	452,342	88,658	
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	170,640	170,640	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	79,000		79,000	72,009	6,991	
職員等研修費	20,000		20,000	10,000	10,000	
振込手数料	19,000		19,000	3,132	15,868	
リース料	114,000		114,000	193,716	79,716	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	136,000		136,000	185,986	49,986	
その他	399,000		399,000	288,413	110,587	
事業費	1,392,000		1,392,000	1,511,897	113,537	
運営協議会経費	42,000		42,000	48,360	6,360	予算-指定額
指定管理料充当 事業	1,350,000		1,350,000	1,463,537	113,537	
管理費	4,233,000		4,233,000	4,215,123	3,558	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	1,294,000		1,294,000	1,272,565	21,435	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	この列は入力しない
水道料金			0	0	0	
清掃費	814,000		814,000	788,357	25,643	
修繕費	474,000		474,000	434,623	39,377	予算-指定額
機械整備費	557,000		557,000	440,252	116,748	
設備保全費	1,094,000		1,094,000	1,279,326	185,326	
空調衛生設備保守	356,000		356,000	439,531	83,531	
消防設備保守	70,000		70,000	66,550	3,450	
電気設備保守	390,000		390,000	389,060	940	
害虫駆除清掃保守	61,000		61,000	30,716	30,284	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	217,000		217,000	353,469	136,469	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	950,000	0	950,000	890,179	59,821	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	950,000		950,000	890,179	59,821	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他()			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一対対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	19,455,000	0	19,455,000	19,278,962	160,963	
差引	1,195,000	0	1,195,000	1,121,010	58,915	

自主事業費収入	650,000		650,000	737,139	87,139	
自主事業費支出	1,350,000		1,350,000	1,463,537	113,537	
自主事業収支	700,000	0	700,000	726,398	26,398	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	123,800	123,800	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	123,800	123,800	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「生麦(施設名)」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	22,616,000		22,616,000	22,828,529	212,529	横浜市より
指定管理料(介護予防)	149,000		149,000	149,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	100,000		100,000	226,438	126,438	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	0	0	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	28,654,000	0	28,654,000	28,992,967	338,967	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,041,000	0	24,041,000	24,659,731	618,731	
本俸	14,224,000		14,224,000	13,485,350	738,650	
社会保険料	3,057,000		3,057,000	3,181,878	124,878	
手当計	6,085,000		6,085,000	5,379,855	705,145	
健康診断費	225,000		225,000	157,656	67,344	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	450,000		450,000	2,383,600	1,933,600	
その他	0		0	71,392	71,392	
事務費	1,700,000	0	1,700,000	1,022,516	677,484	
旅費	120,000		120,000	78,032	41,968	
消耗品費	360,000		360,000	44,169	315,831	
会議贈り費	30,000		30,000	0	30,000	
印刷製本費	80,000		80,000	24,938	55,062	
通信費	265,000		265,000	155,678	109,322	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	45,360	45,360	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	21,000		21,000	19,141	1,859	
職員等研修費	100,000		100,000	128,452	28,452	
振込手数料	5,000		5,000	8,612	3,612	
リース料	168,000		168,000	132,216	35,784	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	551,000		551,000	75,537	475,463	
その他	0		0	310,381	310,381	
事業費	1,513,000	0	1,513,000	1,320,606	192,394	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	425,000		425,000	421,519	3,481	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	149,000		149,000	149,243	243	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	245,844	63,156	予算:指定額
管理費	1,077,000	0	1,077,000	1,120,467	43,467	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	344,000	0	344,000	338,276	5,724	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	この列は入力しない
水道料金			0		0	
清掃費	216,000		216,000	209,563	6,437	
修繕費	126,000		126,000	115,529	10,471	予算:指定額
機械警備費	117,000		117,000	117,028	28	
設備保全費	274,000	0	274,000	340,071	66,071	
空調衛生設備保守	77,000		77,000	116,837	39,837	
消防設備保守	18,000		18,000	17,690	310	
電気設備保守	103,000		103,000	103,420	420	
害虫駆除清掃保守	17,000		17,000	8,164	8,836	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	59,000		59,000	93,960	34,960	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	28,331,000	0	28,331,000	28,123,320	207,680	
差引	323,000	0	323,000	869,647	546,647	

自主事業費収入	100,000			226,438		
自主事業費支出	425,000			421,519		
自主事業収支	325,000			195,081		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:生麦地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2400	2800	-400	5300	5500	-200			0			0
	その他	2800	4400	-1600	0	100	-100	0	0	0	0	0	0
	介護予防ケアマネジメント費	2800	4400	-1600		100	-100			0			0
	事業・負担金収入			0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
				0			0			0			0
収入合計(A)		5200	7200	-2000	5300	5600	-300	0		0	0	0	0
支出	人件費	2400	2400	0	8000	6000	2000			0			0
	事務費	200	200	0	200	650	-450			0			0
	事業費			0	50	50	0			0			0
	管理費			0			0			0			0
	その他	2300	3500	-1200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	2300	3500	-1200			0			0			0
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
			0			0			0			0	
支出合計(B)		4900	6100	-1200	8250	6700	1550	0	0	0	0	0	0
収支 (A) - (B)		300	1100	-800	-2950	-1100	-1850	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市生麦地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額								
	②募集人数	総経費	収入			支出				
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他		
健康体操	①地域	349,032	地活	59,632	289,400		349,032			
	②30人		包括							
	③200円		介護							
			生活							
やさしい体操	①地域・高齢者	147,551	地活	2,076	71,700			73,776		
	②30人		包括	2,075						71,700
	③100円		介護							
			生活							
絵手紙	①地域・高齢者	148,791	地活	40,146	34,250		73,480	916		
	②10人		包括	40,145						34,250
	③500円		介護							
			生活							
うたごえ広場	①地域・高齢者	63,992	地活	1,346	30,650		30,000	1,996		
	②50人		包括	1,346						30,650
	③100円		介護							
			生活							
カラオケサロン	①地域・高齢者	7,025	地活	13	3,500			3,513		
	②20人		包括	12						3,500
	③100円		介護							
			生活							
男のパン教室	①地域・高齢者	11,745	地活	7,245	4,500		10,000	1,745		
	②10人		包括							
	③500円		介護							
			生活							
地域向けパン教室	①地域・高齢者	17,525	地活	4,525	13,000		15,000	2,525		
	②10人		包括							
	③500円		介護							
			生活							
からだメンテナンス	①地域・高齢者	89,184	地活	68,584	20,600		89,184			
	②30人		包括							
	③200円		介護							
			生活							
春・夏休みお菓子教室	①小学生	12,765	地活	9,265	3,500		10,000	2,765		
	②8人		包括							
	③500円		介護							
			生活							
ベビーマッサージ	①乳幼児	85,546	地活	53,146	32,400		72,000	13,546		
	②20組		包括							
	③200円		介護							
			生活							
ベビードンス	①乳幼児	55,000	地活	8,000	47,000		55,000			
	②15組		包括							
	③500円		介護							
			生活							
ファミリーベビーマッサージ	①乳幼児	16,000	地活	8,300	7,700		16,000			
	②20組		包括							
	③400円～800円		介護							
			生活							

平成30年度 自主事業収支報告書

コミュニケーションサイン	①乳幼児	50,000	地活	20,500	29,500	50,000		
	②15組		包括					
	③500円		介護生活					
親子英語	①乳幼児	118,800	地活	80,800	38,000	118,800		
	②15組		包括					
	③500円		介護生活					
生麦エコキッズ	①小学生	4,716	地活	4,716				4,716
	②20人		包括					
	③0円		介護生活					
小学生パン教室	①小学生	38,124	地活	20,724	17,400	30,000		8,124
	②10人		包括					
	③300円		介護生活					
ラジオ体操	①地域	48,800	地活	9,760				9,760
	②30人		包括	9,760				
	③0円		介護生活	29,280				
ケアプラザまつり	①地域	244,717	地活	36,020	86,339			122,359
	②なし		包括	36,020				
	③10円～1,000円		介護生活					
貝の浜盆踊り	①地域	15,000	地活	5,250				5,250
	②なし		包括					
	③0円		介護生活	9,750				
おもちゃつきにいこう	①地域	47,274	地活	23,637				23,637
	②なし		包括	23,637				
	③0円		介護生活					
お祭りにいこう	①地域	13,012	地活	13,012				13,012
	②なし		包括					
	③0円		介護生活					
親子体操	①乳幼児	21,000	地活	13,300	7,700	21,000		
	②25組		包括					
	③100円		介護生活					
ケアプラザニュース	①地域	85,351	地活	42,676				42,676
	②なし		包括	12,802				
	③0円		介護生活	29,873				
ちょこっとおしゃべりタイム	①地域	15,916	地活					15,916
	②30人		包括	15,916				
	③0円		介護生活					
ココリラ麦の風	①地域	20,368	地活					20,368
	②なし		包括	20,368				
	③0円		介護生活					
連絡会	①地域	33,000	地活					33,000
	②なし		包括	33,000				
	③0円		介護生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業報告書

横浜市生麦地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ちょこっと体操 &おしゃべりタイム	目的：地域の高齢者の方が初めてケアプラザの自主事業参加する際に気軽に参加しやすいように企画・実施。 内容：保健師による30分程度の体操、30分茶話会	月1回 年間12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康体操	目的：みんなで楽しく身体を動かすことで健康維持に役立て、参加者の仲間づくりの場とする。 内容：介護予防体操専門の講師を招き、立って体操ができる方を対象に実施。健康づくりの一環、また地域の方との交流の場として実施しました。	毎週月曜日 年51回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
やさしい体操	目的：立って体を動かすことが難しい方向けの座位体操。無理なく身体を動かし、健康維持の手助け、参加者の仲間づくりの場とする。 内容：ケアプラザ職員が講師を務め、立って体を動かすことが難しい方向けに、椅子に座って簡単に体を動かせる体操を実施し、体操後にはお茶の時間を設け仲間づくり、情報交換の場としても実施しました。	毎週火曜or木曜日 年51回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かんたん絵手紙	目的：指先を意識的に動かすことで脳の活性化、介護予防につながる。参加者同士の仲間づくりの場とする。 内容：講師を招き、手本に沿って絵手紙を製作する。絵を通し、楽しみつつ仲間を作り、閉じこもり防止のための場として実施しました。	年22回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたごえひろば	<p>目的：懐かしい歌をみんなでうたい、心身の健康づくりに役立て、参加者の仲間づくりの場とする。参加者に片づけ、食器洗い等の簡単なお手伝いを呼びかけ、ボランティアの意識を高める。</p> <p>内容：ピアノとギターの演奏に合わせて、懐かしの歌をみんなで歌う。多くの方が一堂に集い歌いながら交流をする場を提供しました。</p>	第3水曜日 年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カラオケサロン	<p>目的：歌を歌うことで健康づくりに役立てる。家にひきこもりがちな高齢者がでかけるきっかけとする。</p> <p>内容：カラオケ機器を使って、順番に好きな歌を歌ってもらい歌を通して健康づくり、外出のきっかけづくりとして実施。交流の場を提供しました。</p>	第3火曜日 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男のパン教室	<p>目的：ケアプラザに足を運ぶ機会が少ない男性が、家に引きこもらず外出し、仲間づくりのきっかけとする。手作りの食事を通して、栄養バランスを見直し、身体を見つめ直す機会とする。</p> <p>内容：男のパン教室では、鶴見にお住まいの講師を招き、粉からパンをこね、形成して制作し、参加者みんなで食べる。就労中は地域に出る機会の少なかった男性が、地域に出るきっかけとして実施しました。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域向けパン教室	<p>目的：手作りパン教室を通して、調理の楽しみを実感、仲間づくりの機会とする。</p> <p>内容：地域の講師を招いて、手作りパンのおいしさ、パン作りの楽しさを体感した。世代や性別を限定せずに実施することで、世代間交流、共通の趣味を持つ方同士の仲間づくりのきっかけとして実施しました。</p>	年3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
小学生パン教室	目的：手作りパン教室を通して、調理の楽しみを実感、仲間づくりの機会とする。 内容：学校・学年の枠組みを超えて交流する機会とし、手作りの物を食べる楽しさを体験した。また、パンを作るだけではなく焼き時間の中にミニ福祉講座として車いすの扱い方を学び、食育、福祉教育の一環として実施しました。	年6回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
YMCAつるみ保育園協働子育て支援イベント	目的：養育者の孤立、引きこもりを防ぎ、親同士の交流、ネットワークづくりを目的に実施。 内容：保育園の協力のもと、離乳食講座、子育ての相談対応を行い子育てをする親同士の交流の場を提供しました。	年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サロン麦の風	目的：地域の誰もが気軽に集まれる居場所を開放し、交流の場を提供する。 内容：事業や貸し室がない時間帯に、地域の誰もが気軽に立ち寄れる居場所として多目的ホールを開放する。平日の午前中は、高齢者や子育て世代が、放課後になると小中学生があつまり、世代を問わず、地域住民の交流の場となっている。	347回 ※多目的ホールの貸館がない場合のみ開放

事業名	目的・内容	実施時期・回数
からだメンテナンス	目的：平日の日中働いている方の健康維持・増進の機会とする。若い内から体操をとおした健康づくり、介護予防を目指す。これまでケアプラザを利用したことのない方が足を運び、地域活動に参加するきっかけとする。 内容：幅広い世代向けに健康づくりに働きかけ、柔軟性を高めるストレッチや筋力アップのためのチューブエクササイズ、エアロビクス要素を取り入れた有酸素運動で体を動かした。ケアプラザに来て体を動かすだけでなく、自宅や通勤中に身体を動かして健康を維持し、健康意識を高めるために実施しました。	年12回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビーマッサージ	目的：親子の交流を深める機会とする。ベビーマッサージをきっかけに親子がケアプラザに足を運ぶ機会とする。 内容：地元講師を招き、手遊びやマッサージを通して親子の交流を図る。自宅に帰っても行えるスキンシップ方法を取り入れ、マッサージ終了後は、お茶を飲みながら子育てに関わる情報交換をして、母親の抱える不安や悩みを共有し、地域の母子の親睦を深める時として実施しました。	年18回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ファミリーベビーマッサージ	目的：父親の子育てへの参加、父親同志の交流を促す。地域ケアプラザへと足を運ぶことで、地域の行事に父親やワーキングママが参加しやすいきっかけとする。 内容：父親によるベビーマッサージ・手遊びを行い、子育てへの参加、親子のスキンシップを図った。また、父親に限らず、平日の参加が難しいワーキングママが参加するきっかけとし、マッサージ後には、親子の交流の時を持ち、子を持つ男性同士がつながる場を提供しました。	年4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ベビードダンス	目的：寝かしつけに効果的なベビードダンスを通して、育児ストレスの軽減、楽しみながら親子の健康づくりを促進する。 内容：講師の先生と一緒に音楽に合わせてながらダンスを踊る寝かしつけに効果的なリズムを学びながら運動不足を解消するために実施しました。	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コミュニケーションサイン	目的：おしゃべりが始まる前の赤ちゃんとのコミュニケーションに、サインを取り入れ、育児ストレスの軽減を図る。 内容：まだ言葉がしゃべれず気持ちを伝えられない赤ちゃんと養育者のコミュニケーションを円滑にするために、アイコンタクトや声づかい、日常生活でよく使う言葉をサインで学ぶ。また、季節に応じたおもちゃづくりや地域の子育て情報の交換を行う場として実施しました。	年11回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子英語	<p>目的：生活によく使うトピックスをテーマに、体を動かしたり、歌を歌うなどして楽しく親子で英語に親しむ。保育園に行く子どもが多い地域で、2・3歳児の親子の居場所、地域とのつながりづくりのきっかけとする。</p> <p>内容：英語の歌、本を使った読み聞かせ、体を動かした遊びを交えて、英語に親しんで行なった。生活の中でよく使うトピックス（体の部分、天気、色、食べ物等）を扱い、帰宅後も気軽に親子で英語あそびを楽しみました。</p>	年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子体操	<p>目的：親子で音楽に合わせて身体を動かす喜びを知り、若い頃からの健康づくりの機会とする。はなはなひろばと共催で実施し、地域で子育て支援に関わる機関との連携を深める。</p> <p>内容：子どもになじみの音楽に合わせて、親子で思いっきり踊ったり、走ったりして身体を動かし、幼児期からの健康増進の機会を提供するために実施。地域団体はなはなひろばと共催で実施しました。</p>	年6回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
生麦エコキッズクラブ	<p>目的：小学生が、植物を育てる喜び、地域の自然を大切にすることを育むことを目的とする。実施にあたり「むぎわらクラブ」のメンバーとサポートを受け、世代を超えた交わりを大切にする。</p> <p>内容：ケアプラザの花壇整備や、グリーンカーテン作り、清掃活動、エコおもちゃ作りなどを通して、自らの暮らす地域の環境について考え、思いやりの心を育み、責任を持ってエコ活動に取り組むために実施しました。地域ボランティアも交えた世代交流の機会としても行いました。</p>	年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
麦わらクラブ	<p>目的：ケアプラザの植木の剪定や草むしり、花壇整備をはじめ「生麦エコキッズクラブ」で子どもたちのエコ活動をサポートしたり、時には一緒になって思いっきり遊び、地域で活動するきっかけとする。</p> <p>内容：「生麦エコキッズクラブ」で子どもたちのエコ活動をサポート、ケアプラザの花壇の整備などを行いました。</p>	年3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ ニュース	目的：地域住民向けに自主事業、講座、地域行事などのタイムリーな情報を発信し、分かりやすい情報提供を行う。 内容：毎月、ケアプラザで行う自主事業や講座などの情報や、地域で大切にされている行事の情報などを発信し、自治会・町内会の回覧・掲示板で周知をしました。	年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ココリラ麦の風 (介護者のつどい)	目的：介護者がつどい語らうピアカウンセリング的な場としてスタートした。介護技術や介護サービスに関する知識も提供する。 内容：語らいの場として継続していくとともに、介護者が自宅で親族を介護する場合や、近隣同士がちょっとした手助けをする場合にも役立つ知識を提供しました。	年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ニコニコおたっ しゃクラブ	目的：高齢者が地域で自分らしく過ごすための仕組み知って自己決定の意識を高めてもらう。 内容：認知症への理解（認知症予防、認知症サポーター養成講座）と権利擁護に関する制度（成年後見制度（法定・任意）、あんしんセンター、相続と家族信託、消費者被害防止等）を専門機関の講師講座開催により周知しました。	年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉トワイライ トエクスプレス	目的：日中参加することのできない方が参加できるように開催する。 内容：集まった方の状況に合わせた、プラスアルファの知識も得られる認知症サポーター養成講座を実施しました。	年3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なまむぎ愛レンジャーが行く！出張講座	目的：ケアプラザから遠い地域に住む方々にも、身近な場所で介護予防につながる体操や相談が出来る機会を提供する。 内容：座ってできるハマトレ体操を実施しました。	7月に1回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生麦第一地区保健活動推進員健康づくり講座	目的：生麦第一地区保健活動推進員と共催で、地域の方々の健康増進を目指す。 内容：健康測定会7月と11月、脳トレと簡単体操で頭もからだも若返り!!!、骨粗鬆症予防	年4回実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
元気モリモリ！ラジオ体操	目的：夏休み期間中、毎朝ラジオ体操を行い、健康づくり、世代間交流、担い手育成を目的として実施する。 内容：ラジオ体操第一・第二を行い、暑さに負けず健康な体づくり、夏休み期間中の生活リズムを整える場として実施。また、こどもからお年寄りまで、世代を超えて地域で交わりの時を持つ。体操後には、清掃や植木への水やりを行いました。	年34回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つるみサマーフレンドボランティア研修会	目的：つるみサマーフレンドの目的である障がい児余暇活動の支援を担うボランティア育成のための研修会。 内容：障がいとは何か、どのように関わればいいのかなど、初めてボランティア活動をされる方にも分かりやすい養護教諭からの講義、障がい児の保護者からの話などを通して、ボランティア育成を行い活動に取り組む導入として行いました。	年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つるみサマーフレンド	<p>目的：学齢障がい児への余暇活動の支援として、様々な体験の場を提供し楽しい夏休みの思い出づくりの機会、保護者のレスパイトとする。また、事業を通し、障がい児余暇活動支援を担うボランティアを育成する。</p> <p>内容：区内ケアプラザが合同で実施。生麦地域ケアプラザは鶴見中央地域ケアプラザと合同でパン屋さんにお出かけするプログラムを実施しました。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春・夏休みお菓子教室	<p>目的：地域の障がい児余暇支援の一環として行う。地域活動ふれあいの家や地域のボランティアを募り、障がいに対する理解を深め、地域での交わり、見守りの機会とする。</p> <p>内容：つるみサマーフレンドで外出プログラムを行うようになってから、外出は難しく、ケアプラザで集まれる活動をやってほしいという保護者の声を受けて開始。地域の講師を招き、こねたり混ぜたりといった感触を楽しみながら、手作りのお菓子を食べる楽しみを体験した。学校・学年を超えて、また地域のボランティアとの交流の機会として実施しました。</p>	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なまちゃんプログラム	<p>目的：学齢児童の長期休暇中に、地域にお住まいの方の得意分野を活かした各種イベントを実施する。地域の方との世代を超えた交流の機会としてだけでなく、子どもの見守りの機会ともする。</p> <p>内容：「勉強だけでなく地域の方から色々なことを身近なケアプラザで学びたい」という声を受けて事業開始。地域にお住まいの方の得意分野を活かした昔遊びや食育活動など様々なイベントを行い、長期休暇中の学齢児童の見守り、世代間交流だけでなく、講師を務めた地域のボランティアの方にとっても地域活動の機会となりました。</p>	年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
登録団体交流会	<p>目的：ケアプラザを利用している登録団体相互の交流会。</p> <p>内容：同じ地域で活動している団体が一同に集い、交流の時を持つ。互いの活動を知り、新たな出会い、情報交換を通して、更なる活動、発展の機会として実施しました。</p>	年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生麦学び遊び場の会	目的：地域住民、生麦小学校の元校長などがボランティアで小学生の宿題のサポートを行う。 内容：学習につまずきをおぼえやすい3・4年生を対象に、夏・冬休みに地域住民や元生麦小学校の先生たちが宿題のサポートや遊びの機会として、ポッチャなどを行う。ケアプラザは、広報・場所貸しの支援を行いました。	年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
防災講座	目的：火災や地震などもしものに備えて防災のための知識を身に着ける。 内容：生麦消防出張所の消防士の方にお越しいただき、自主事業のお茶などの時間を使って火災や地震などの屁に備えや未然に防ぐためにはどうするか、万が一起こった場合どのように対処するのかなどをお話しいただきました。	年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
情報交換会	目的：老人クラブは各老人クラブごとに活発に活動をされているが、地区老人クラブとしての活動ではまとまりきれていない。また、担い手不足から負担感を感じている担い手も多い。負担感なく、継続して活動ができるよう、老人クラブ同士のつながりを作り、そのつながりを地区全体に広げていく。 内容：生麦第一連合会の老人クラブの方に集まっていたいただき、交流の時を持ちました。互いの活動を知り、情報交換を通して、更なる活動、発展のきっかけの機会として行いました。	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
えんぴつサロン	目的：居場所づくりのためのニーズ把握・これまでケアプラザを利用したことのない方が足を運び、地域活動に参加するきっかけにする。・地域の方同士の交流・エンディングノート普及啓発・認知症予防 内容：えんぴつを使って脳トレのプリントやエンディングノート作成など自分でできることを行いながら、参加している人同士でおしゃべりをしながら行いました。	月1回、年間で9回 実施

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
冬の障害児余暇支援事業 クリスマスパーティー	目的：学齢障がい児への余暇活動の支援として、様々な体験の場を提供し楽しい思い出づくりの機会とする。また、事業を通し、障がい児余暇活動支援を担うボランティアを育成する。 内容：東寺尾・鶴見市場・矢向・生麦の4つのケアプラザが合同で企画。東寺尾地域ケアプラザを会場にし、クリスマス会を実施しました。車椅子の子も保護者同士もゆったり過ごせるコースを行い、車椅子の子どもの余暇支援、保護者の情報共有、運営するコーディネーター今後の活動展開への情報収集の機会として実施しました。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
チャリティーラン	目的：障がいの有無にかかわらずバトンをつないで仲間と一緒にゴールを目指す体験を通し、地域活動ホーム「ふれあいの家」・「ふれあいクローバー」メンバーの活躍、交流の機会とする。 内容：地域活動ホーム「ふれあいの家」・「ふれあいクローバー」のメンバーと一緒にチャリティーラン（参加費で障がい児の支援をすると共に、障がいへの社会的理解・関心を高めることを目的とした駅伝イベント）に参加。多くの人と交わる機会となりました。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザまつり	目的：ケアプラザに来たことの無い人が足を運ぶきっかけ、ケアプラザの存在、働きをより広く周知する機会とする。近隣地区センター、地域活動ホーム3館合同での秋祭り。ケアプラザ利用者（自主事業参加者、貸室利用団体）が、団体の枠組みを超えてボランティア活動する機会とする。 内容：子どもから高齢者まで誰もが楽しめて、健康を見つめ直したり、地域で年齢を超えた交流の場になりました。	11月に年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
生麦盆踊り大会	目的：地域から依頼を受け、ブースを出店し、子どもから高齢者まで世代を超えて交流する機会を持つ。また、鶴見区福祉保健計画（あいねっと）に関する出し物実施し、福祉保健計画を周知するとともに、地域情報収集を行う。 内容：地域の盆踊り大会に区役所や社会福祉協議会と合同でブースを出展し、福祉保健のに関する情報提供等を行いました。	年2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会・交流会	<p>目的：ケアプラザで活動するボランティア同士の交流、更なる活動の展開のきっかけとする。また活動をフィードバックしたり、ケアプラザから感謝の意を伝えることで、継続した活動となるように働きかける。</p> <p>内容：ボランティア同士でお茶を楽しみながら交流を図り、ケアプラザ内でのボランティアの活動を周知し様々なボランティアが交流する機会となりました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お餅つきにいこう	<p>目的：地域で大切にされている行事であるおもちつきに参加し、交流、地域愛を育む機会とする。また地域と顔の見える関係を構築し、最新の地域状況を把握する。</p> <p>内容：地域で大切にされているおもちつきへの参加し、地域の方との顔の見える関係づくりを行いました。</p>	年8回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
YMCAサッカー教室	<p>目的：スポーツを通じて子供たちが地域と交わり楽しみながら体を動かす。</p> <p>内容：ケアプラザにてYMCA専門学校に講師を依頼し練習したのちにミニゲームを行う。生麦小学校・中学校の生徒が混じり地域の方も参加しました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
気軽に生麦散歩♪	<p>目的：地区全体の取り組みとして生麦散歩を企画・開催し、地区全体での取り組み意識と参加された方同士のつながりを強める。</p> <p>内容：各クラブから実行委員として参加してもらい企画・運営に関わってもらいました。実施日は参加者同士散歩をしながら交流する機会となりました。</p>	年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパと子供の運動会	<p>目的：父親の子育てへの参加、父親同志の交流を促す。鶴見区に愛着をもってもらう。</p> <p>内容：お父さんと子どもと一緒にリレーや玉入れを楽しみ、グループの中でコミュニケーションをとれるような内容も組み込み、多くのパパと子どもが交流する機会となりました。</p>	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お祭りにいこう	<p>目的：地域に愛着をもってもらう。</p> <p>内容：地域で開催されるお祭りに参加し、地域の歴史について知ってもらう機会となりました。</p>	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
連絡会	<p>目的：ケアプラザ関係機関との情報交換。</p> <p>内容：関係機関の方々との情報交換を目的に連絡会を開催し、顔と顔の見える関係を構築しました。</p>	年2回